

愛媛大学

【NO 7 0 愛媛大学】

	愛媛大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：107 第2年次：5） 医学系研究科（D：30）
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に、愛媛大学の新設学部として昭和48年（1973年）愛媛大学医学部が設置された。</p> <p><u>昭和48年（1973年）愛媛大学医学部設置</u></p> <p>昭和54年（1979年）大学院医学研究科設置（平成10年（1998年）医学系研究科に改称）</p> <p>平成16年（2004年）国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 愛媛大学の基本理念に基づき、「学生中心の大学」として、学生の多様な志向性を尊重した医学教育を提供することにより、地域から求められる役割に応え、地域発展を牽引し、患者のために全人的視点から最善を尽くす医師・医学研究者の養成を積極的に推進する。また、優れた研究医養成モデルを構築し、基礎・臨床研究や橋渡し研究を担う人材を輩出する。 ○ 無細胞タンパク質工学の技術を活用した再生医療やマラリアワクチン開発を始めとする研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上、国際貢献等を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 愛媛県の医師不足や偏在の解消に貢献するため、県や県内各地の医療機関との連携の下、県内の地域医療を担う医師の養成・確保及びキャリア形成支援を積極的に推進する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等としての取組を通じて、愛媛県における地域医療の中核的役割を担う。